

## 中部シニアライフアドバイザー協会

# SLA 通信

中部SLA協会 総務委員会広報部会  
〒460 名古屋市中区正木1-2-8  
(財)シニアルネサンス財団内  
TEL 052-332-7883

### 『男女が共に生きる』ボランティアの新しい時代を目指して

中部シニアライフアドバイザー協会  
副会長 山下 可子

新年おめでとうございます。

お互いの健康を共に喜び合いたいと思います。

中部SLA協会(会員数155名)は、いよいよ3年目を迎えます。現在、主なSLAの活動は、財団の御支援を得て電話相談活動をしていきますが、昨年研究部会が発足し、生涯学習とボランティアの基本となる『楽しく学び合い、支え合う』共通の場ができました。現職の方はシニアの情報交換の場として、定年退職者は新たな出発の場として、男女が共に楽しく学び合って行きたいものです。今後は、SLAとしてこの研修を生かす地域活動の構築が、課題であると思います。

さて、阪神・淡路大震災から丁度1年になります。未だに辛い生活を余儀なくされておられる被災者を思うと心が痛みます。

震災以来、被災地の高齢者の生活の知恵や町内の助け合う姿、或いは被災者と自然に融合している若いボランティアたちの笑顔を伝えるTVの場面は『人間関係の大切さ』を呼び覚ましました。そして、同時にそれは、被災当時、私達の共感を呼んだ公共広告機構の『人を救うのは人しかない!』という意見広告と重なって、『社会の質を変えていくボランティアのパワー』を強く感じさせました。

被災した私の友人7名も、こうした『ボランティア活動に参加した方々から受けた有形無形の活動が、どんなに生きる気力と、生活を支えるエネルギーになったか計り知れないものがある』と、語ってくれました。

会員の皆様の中にも他の所属組織から逸早く、カウンセラーとして被災者の心のケアの活動に参加された方があって伺いまして、敬意を表している次第です。

その体験談をお聞きする機会もなく過ぎてしまいましたが、こうしたボランティア活動に参加なさった方々は、恐らく人の指示を待っていたり、人に要求したりするのではなく、正しく強く、新しい筋道を立て、自分で行動を起こされたと思います。

そして、被災者、一般市民、行政等の人々との出会いの中で『必要とされている自分』を発見され、活動する過程で『人々の為に役立っている自己の存在意義(自己実現)』を確認されたことでしょう。

こうしたボランティア活動の体験から得た自己実現の充足感は、心の財産として、その後の生活に生かしていく楽しさと、生きがい(生き方)につながるのではないのでしょうか。

私は被災した7人の友人と1年間拘わって来た貴重な体験から、たとえ1本の電話でも、1通の手紙でも、温かい言葉とカウンセリングマインドが、人間の生きる気力と勇気を呼び覚ますことを学びました。

年頭に当たり、原点に立ってSLA活動に参画する意義を確認し、たとえ牛歩であっても先人に学びながら、明るい気持ちと笑顔で、『個人の自助自立の努力をバックアップするSLA活動』を、身近なところから、地道に推進していこうではありませんか。

## 研修委員会報告

9月10日に5つの研究部会が、いっせいにスタートして以来、各部会共、月1回の割合で、研究会が開かれています。今年に入ってからは、3月末の全体研修会の発表に向けて一段と熱心な勉強会が行われています。  
 以下は、各部会のリーダーに提出して頂いた資料に基いたリポートです。  
 今後の予定も合わせてご覧下さい。

### 〈 部会活動状況 〉

#### 電話相談研究部会

会員数	26人	部会費	0円
開催日	場所	出席者数	
10月21日	高砂殿(名駅前)	14人	
11月25日	鶴舞図書館	10人	
12月16日	高砂殿(本店)	15人	
1月20日	鶴舞図書館		

シニア相談員としての資質の向上を計り、信頼性の高い相談員となることに努める。

- 10月21日 講師竹内くに子氏に相談事例からの提言
- 11月25日～12月16日  
 ケーススタディ中心に問題提起それに対してワークショップを行った。

#### 今後の予定

- 2月17日(土) 10:30～12:30 高砂殿本店  
 3月16日(土) 10:30～12:30 高砂殿本店

----- ☆☆☆ ☆☆☆ -----

#### 生きがい研究部会

会員数	29人	部会費	1000円
開催日	場所	出席者数	
10月22日	鶴舞図書館	15人	
11月12日	高砂殿(名駅前)	23人	
12月4日	テクノ中部	8人	
1月13日	鶴舞図書館	8人	

「生きがい」とはどんなことかを考える  
 自分の体験を話し合う  
 研修会参加者からの報告  
 「生きがい」文献の紹介、冊子を作る予定

#### 今後の予定

- 2月10日(土) 10:15～12:30 鶴舞図書館  
 3月2日(土) 13:00～16:30 鶴舞図書館

#### 人間関係研究部会

会員数	30人	部会費	300円
開催日	場所	出席者数	
10月9日	テクノ中部	4人	
11月12日	高砂殿	8人	
12月5日	女性会館	6人	
1月24日	女性会館	12人	

私たちが抱える具体的な悩みや不安を、共に分かち合い、考え、プラス思考で明るく楽しい情報交換を心掛ける。  
 アドバイザーとして、個人の自励・自立の努力をバックアップするために、会員が自ら情報の提供を心掛け、専門テキストにより、資質の向上を目指す。

#### 今後の予定

- 2月15日(木) 10:00～12:00  
 愛知県婦人文化会館  
 愛知県女性文化協会主催：女性の楽い  
 (臨時研究部会)

- 2月25日(日) 10:00～12:00  
 名古屋市勤労婦人センター(281)-3811  
 テキスト利用によるカウンセリング事例研究
- 3月17日(日) 10:00～12:00  
 名古屋市勤労婦人センター  
 平成7年度研修のまとめ 反省会

☆人数は少なくともアドバイザーとしての資質の向上を目指して、徐々に専門的な内容に向かっていっているので焦らず地道に、継続的に中身の充実を心掛けている。  
 温かい気持ちと、笑顔で楽しく！をモットーに出発したので、評論家にならないで、自己を見つめ、人間関係について素直に表現し自己評価できるようにする。

## 遺産、相続研究部会

会員数 23人 部会費 0円

開催日 場所 出席者数

11月19日 鶴舞図書館 9人

12月2日 鶴舞図書館 8人

1月13日 鶴舞図書館 8人

養成講座のノートを中心に条文の明示と  
例題（電話相談）に対する話し合い。

12月2日 相続人と相続分

1月13日 遺言、遺留分、相続放棄

## 今後の予定

2月24日(土) 13:30~15:30 鶴舞図書館

3月16日(土) 10:30~12:30 鶴舞図書館

「相続の法律相談」(有斐閣)を参考に  
例題を出し、話し合いをして行く予定。

## 年金研究部会

会員数 28人 部会費 1000円

開催日 場所 出席者数

10月22日 高砂蔵(名駅前) 12人

11月25日 女性会館 12人

12月16日 女性会館 16人

岩波新書、島田とみ子著「年金入門」を  
教材にして担当ページをきめ、下調べをし  
説明、質問など出し合い話し合う。

## 今後の予定

2月24日(土) 13:30~16:30 女性会館

3月16日(土) 13:30~16:30 女性会館

☆各自担当ページを責任をもって調べて来る  
のが、良い結果を生んでいる。  
年金に対する多くの疑問点も解決できるよう  
になり、うれしい。

## 全体研修会

★ 1月30日(火) 13:00~15:00 高砂蔵名古屋駅前店  
「愛知県における高齢化社会の現状と対策」  
愛知県民生部高齢化対策室 室長補佐 加藤 勝彦氏★ 3月30日(土) 10:30~15:00 女性会館2F 視聴覚室  
「研究部会発表会」4月21日(日) 平成8年度 中部シニアライフアドバイザー協会  
“通常総会”を開催予定です。

## S.L.A.ット(スラット)広場

副会長 松村 坦



## 〈 私の好きな言葉 〉

それは、昭和44年に“東海ラジオ放送”の招待旅行で地中海、スペイン方面を  
18日間旅した折り、ギリシャのアポロ神殿に登ったときに見つけた。

ギリシャ人の基本的な徳を定めた百五十章の言葉の最後の五行です。

子供のときには、良き節度を学び

青年時代には、感情をコントロールすることを学び

中年には、正義を学び

老年になっては、良き助言者になることを学ぶ。

そして悔いなく死ぬ。



皆さんは、どんな好きな言葉をおもちですか？

研究部会、地域部会と会員同士の交流の場も広がり色々な、ニュースや話題も、多々  
あることと思います。私達皆で、この広場を大きく広げて行きたいと思います。小さな個人的なことで、大  
きなことで、〒460 名古屋市中区正木1-2-8 シニアルネサンス財団内 中部S.L.A.  
協会 総務委員会広報部会まで、お寄せ下さい。

## 地域委員会たより

## 第1回地域部会全体会議を開催

平成7年11月26日  
愛知県中小企業センター会議室  
地域部会は、会員相互の親睦とコミュニケーションをはかり、中部S.L.A.協会の地域活動の推進を目的に、平成6年11月に発足をしました。

今年度の地域部会は、あらたに構成をした6部会の中で、活動しやすい地域の部会に、全会員が登録をするというかたちで、再スタートをしました。

第1回全体会議では、下記の正、副部会長(世話役)を選出し、これからの運営方法などについて話し合いがすすめられました。

なお、当日の出席者は34人でした。

名古屋北部会	(E)野村喜美子(副)奥平明子
名古屋南部会	(E)久野ふさ子(副)後藤雅子
	大橋満里子
尾張部会	(E)池田定道(副)松田洋子
	安村美智子
三重部会	(E)福村正樹(副)山口弥生
岐阜部会	(E)水野瑛智子(副)錦見幸子
	大西フミ子
三河部会	未定

## 部会長会議打合せ会

部会間の情報交換などを目的に、月1回、下記のように、世話役の例会を開催します。

12月17日	高砂駅前本店
1月27日	名古屋市総合福祉会館
2月24日	名古屋市総合福祉会館(控)

## 話し室予定

①テクノ中部6F談話室を、つぎの日時に開設します。一度、ぜひお出かけください。

2月5日	担当幹事 加藤清
3月4日	担当幹事 井上サエル

江南地域福祉研究会(江南福祉協議会、1月13、14日開催)で、2期生福村、井上両氏が、S.L.A.として下記のテーマで研究発表をされました。

福村正樹	「脳卒中克服記」
井上サエル	「近隣との触れ合いと家族の絆」

## 【地域部会の活動状況】

## 【名古屋北部会】

会員数	31人	会費	1,000円
部会開催日	所	出席者数	
12月7日	北区役所総合福祉会館	13人	
1月7日	北区役所総合福祉会館	12人	

活動内容  
地域部会活動に求められるもの  
地域での組織づくり

今後の予定

2月3日	北区役所総合福祉会館	10:00~12:00
統・地域での組織づくり		
3月16日	市総合福祉会館	10:00~12:00
公的介護保険について考える		

## 【名古屋南部会】

会員数	36人	会費	1,000円
部会開催日	所	出席者数	
1月7日	ルプラ王山	20人	
(懇親会 会費3,500円)			

活動内容  
既在団体での活動内容報告  
今後の活動内容の検討 開催日程

今後の予定

2月24日	10:00~12:00
名市大看護短大教授田中道子氏講演会	
(他地域の会員も参加いただけます。)	
詳細は、別紙の案内をご覧ください)	

## 【尾張部会】

会員数 27人

活動予定

2月24日(土)	13:30~
名古屋 市北区役所総合福祉会館7F	
(地下鉄名城線黒川駅下車)	
上記のように会合を開きます。	

尾張部会の会員の方は、万障繰り合わせて、ご出席ねがいます。

## 【三河部会】

会員数 18人

活動予定

3月に会合を開いて、話し合いたいと思います。日時は追って連絡します。

## 【三重部会】

会員数 15人

活動予定

2月3日	1:30~3:30
津ターミナルホテル1F	
今後について話し合います。	

## 【岐阜部会】

会員数 8人

活動予定

1月30日	11:30より
高砂駅前名古屋駅前店で、今後の課題について話し合います。	

名古原インフォメーションセンター  
**シニア電話相談室【相談実績】**  
 平成7年4月3日～12月21日(延べ151日)

1. 相談者数 245人(1月平均27.3人 1日平均1.6人)(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
人数	22	31	37	24	26	24	29	27	26	246

2. 相談内容別相談件数 296件(相談者によっては複数の相談内容もある)  
 (単位:人)

内容	健康	医療	介護	痴呆	年金	税金	財産	相続	結婚	離婚	住居	家族	喫煙	特許	仕事	趣味	福祉	その他	計
	15	8	6	1	4	0	1	11	3	6	4	94	70	23	18	1	0	31	296

3. 相談者男女別および年齢別件数(女性87%男性13% 最多年代50代46.5%)  
 (単位:人)

	49歳以下		50歳代		60歳代		70歳以上		不明		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	23	36	3	111	5	24	1	13	0	30	32	214
合計	59		114		29		14		30		216	

### 東海テレビがシニア電話相談室を取材・放送

昨年12月はじめ、東海テレビの報道部から、シニア電話相談室の取材の申し込みがありました。シニアルネサンス財団の河合事務局長に報告、承認を受けて、12月13日の朝10時から約1時間にわたって、ビデオ撮影がおこなわれました。

この日の電話相談担当者は、2期生の奥平明子さんと3期生の保坂正子さんでした。テレビの取材とあって、二人とも幾分緊張気味の中での電話相談の応答ぶりでしたが、無事、撮影を終了しました。

この模様は、12月16日(土)午前10時からの30分番組〈ニュース工房 定年後について考える〉(樋口恵子 小中陽太郎出演)の中で、紹介されました。短い時間でしたので、番組を見られた方でも、気づかれなかったかもしれませんが、ビデオ録画した画面を、あらためてみると、〈シニア電話相談室〉の文字も読み取ることができます。

東海テレビでは、今後も〈ニュース工房〉や〈スーパータイム〉の中で定年後の情報を取り上げる予定です。

シニア電話相談室も、上の〈相談実績〉でおわかりのように、相談件数も足踏み状態です。いろいろな広報活動を通して、広い範囲に浸透していくように、心掛けていきたいと思っております。

## 《高齢者生きがいシンポジウム》で山下可子さんパネラーに

昨年12月10日、“人生の折り返し点に立つあなたへ”をテーマに、名古屋市教育委員会主催のシンポジウムが、中区役所ホールで開催されました。

作家 吉永みち子氏、名古屋テレビアナウンス部長 山崎昭氏と共に、中部SLA協会副会長 山下可子さんが、パネラーとなりました。参加者から、「やさしい人柄が、にじみでるようなよい話がきけて、今後の人生の指針としていきたい」というお礼のことばも寄せられて、大変好評でした。

このシンポジウムについて、3期生成田明夫さんが、1月の「生きがい」研究部会の例会で、参加された感想を述べられましたので、会報にも寄稿を、お願いしました。

### 自助自立の心構えの必要を再認識

— シンポジウム “人生の折り返し点に立つあなたへ”に参加して —

SLA3期生 成田明夫

このシンポジウムは、40代50代の、まさに人生の折り返し点に立つ人たちを対象に開催されました。

パネラーになられた中部SLA協会副会長山下可子さんは、終始あたたかい語り口で、「わたしたちが幸せなシニアライフを送るためには、金銭的または制度的な権威とは別のところで、おたがいの人格を尊重しあい、心の絆をつくりだすこと、あるいは、同じ目の高さで、男女が共に生きることが大切と考えます。

健康、心の安定（人間関係）、自らが求める生きがい——この3つのことばをキーワードとして、あたたかい気持と笑顔で、自助自立の努力を心がけていきたいと思えます」

と、参加者へ心あるメッセージを送られました。豊富な体験に基づく、具体的でわかりやすい山下さんの提言は、参加者の共感を呼びました。会場のあちこちで、頷くすがたが見受けられ、SLAの存在をアピールするに十分なものがあつたと思えました。

吉永みち子さんは、「人間はかなさ、老いていく悲しさを見据えた上で、なお人生を肯定的に生きる真の楽家になることが必要」

と、全国をテレビジョン講演などで駆け回る若さを感ぜさせるメッセージを送られました。また、山崎昭氏は、「定年離婚にならないように、いまこそパートナーに尽くしましょう。新鮮な刺激が生まれ、若いときは一味違う満ち足りたたのしみになります。そして、若い世代に力を貸しましょう。尊敬され、豊かな人生経験が花を開きます」

と、団塊の世代らしいメッセージとなりました。このシンポジウムをおして、さまざまなネットワークを利用して、シニア世代の人たちにアドバイスしていくというSLA本来の仕事を再認識し、山下さんのことばのよけに、長いシニアライフを生き生きと暮らすためには、他力依存を先行させる気持を捨て、自助自立の心構えで生きることの必要性を、今一度確信した次第です。

#### 編集後記

SLA通信vol. 4で、会報のワープロ編集にご協力いただける方を募りましたところ、3期生の松井京子さんが、申し出てくださいました。

さっそく、今回から加わっていただき、新しい出会いをよろこびつつ、SLA通信vol. 5をつくりました。

山下副会長の年頭のことばにもありましたが、様々な出会いを大切にしつつ、明るい気持と笑顔で、SLA活動を推進していきたいと思えます。